

「中山間地域における公共 BB の有効利用を図るための上空利用に関する調査検討会」

開催趣旨

信越地域の地勢はその約半分が山間地域で日本有数の豪雪地域を有し、近年頻発している自然災害においては、土砂崩れや雪害などにより、中山間地域に多く点在する集落における孤立化が懸念されています。また、長野県においては、標高 3,000m を超すアルプス群に囲まれた山岳県となっており、近年の登山ブームを背景とした山岳遭難も増加し、国内では最も遭難事故件数が多い状態が続いています。

これらの集落の孤立化や山岳遭難における救急・救命活動等としては、救助隊の二次被害の防止、救助隊の規模、装備品など、災害・救難現場の状況を把握し、迅速に検討を行うことが求められています。

しかし、中山間地域においては、険しい地勢のもと容易に災害・救難現場への進入が困難であり、その状況を迅速に把握できないことが想定される。これらの課題解決のひとつの方策として、上空からの映像伝送による現場状況の把握が効果的と考えられています。

本調査検討会は、現在、陸上及び海上からの長距離映像伝送が可能な「200MHz 帯広帯域移動通信システム」（公共ブロードバンド移動通信システム）の特性を生かし、上空利用への拡大とその有用性、技術的条件等を検討することにより、周波数の有効利用に資することを目的とします。